

事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 7 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	(国保) 運営協議会事業		会計区分	2	国民健康保険特別会計（事業勘定）		所管部署	市民課		
			予算科目	1	款 3 項 1 目					
事業番号	7020		事業区分	政策的事業【義務】			シート入力	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
評価の種別	□ 詳細評価		簡易評価（事業の概要・結果のみ）							
総合計画での位置づけ	基本目標	健康福祉都市の創造					所属長名	高橋	高橋	野間
	基本施策	生涯にわたる健康づくり					担当責任者	清家	清家	清家
根拠法令等	国民健康保険法						事務担当者	清家	清家	清家
関係する計画等										
事業の目的【ゴール】	対象	国民健康保険被保険者					事業開始年度	平成 17 年度		
目指すべき姿を簡潔に	意図	国民健康保険事業の適正な運営を図ることを目的とする。						令和		
事業内容【アクティビティ】	被保険者を代表する委員、保険医又は保険薬剤師を代表とする委員、公益を代表する委員、被用者保険等保険者を代表する委員で構成され、国保事業の運営に関する重要事項について、市民の諮問に応じた審議・答申を行う。						※合併前からの継続事業は平成17年度と入力			
							事業終了年度（予定）	令和 年度(予定)		
事業の実施方法	□ 直営	□ 一部委託	□ 全部委託	□ 指定管理	□ 補助金・負担金等	□ その他（	）			
本事業とSDGs (持続可能な開発目標)との関連性	□ ゴール 1	貧困をなくそう		□ ゴール 7	エネルギーをみんなに そしてクリーンに		□ ゴール13	気候変動に具体的な対策を		
	□ ゴール 2	飢餓をゼロに		□ ゴール 8	働きがいも経済成長も		□ ゴール14	海の豊かさを守ろう		
	□ ゴール 3	すべての人に健康と福祉を		□ ゴール 9	産業と技術革新の基盤をつくろう		□ ゴール15	陸の豊かさを守ろう		
	□ ゴール 4	質の高い教育をみんなに		□ ゴール10	人や国の不平等をなくそう		□ ゴール16	平和と公正をすべての人に		
	□ ゴール 5	ジェンダー平等を実現しよう		□ ゴール11	住み続けられるまちづくりを		□ ゴール17	パートナーシップで目標を達成しよう		
	□ ゴール 6	安全な水とトイレを世界中に		□ ゴール12	つくる責任つかう責任					

前回評価の振り返り

評価年度	事業遂行に係る課題・改善点		⇒	課題解決に向けた具体的な方策等		⇒	左記に対する対応状況	
令和 4 年度								
最終判断								
現状維持								

事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳（千円）						事業費の内訳							
項 目		R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求	例 年 支 出 の あ る も の 臨 時 的 な も の	節	細節	事業費（千円）				摘 要 ※代表的なものを簡潔に
									R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求	
予 算	当 初 予 算	250	251	255	258		報酬	非常勤報酬	51	120	68	160	委員報酬
	補 正 予 算	0	0	0			旅費		1	3	3	7	委員会出席のための費用弁償
	前年度から繰越	0	0	0			需用費	消耗品費	71	71	72	72	国保新聞
	予 備 費 等	0	0	0			役務費	通信運搬費	8	14	10	19	郵送料
	計	250	251	255	258								
決 算	執 行 額	131	208	153									
	翌年度へ繰越	0	0	0									
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0								
	県 支 出 金	0	0	0	0								
	地 方 債	0	0	0	0								
	そ の 他	131	208	153	258								
	一 般 財 源	0	0	0	0								
	執行率（％）	52.4%	82.9%	60.0%									
当初予算＋補正予算に対する執行額の割合（％）		52.4%	82.9%	60.0%									
正規職員の人工数		0.07	0.07	0.08									
1人工当たりの人件費単価		7,794	7,765	7,895			上記以外の事業費合計						一般事務費、上記で書き表せないもの
※ 執行額＋人件費		677	752	785		事業費の総計			131	208	153	258	

事業活動の実績【アウトプット】

活 動 指 標	項 目		単位	目指す方向性	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	事業遂行に係る工夫点・事業成果	令和2・3年度と運営協議会が書面開催であったが、令和4年度から対面での開催となった。事前に資料を委員へ送付するとともに、会議当日はスライドを用いた説明を行い、また、配布資料には図や写真など、視覚的に分かりやすい資料作りに努めた。
	指標①	開催回数	回		1	2	1		
	指標②	委員数	人		14	14	14	事業遂行に係る課題・改善点	公益を代表する委員の選出について、これまでは市議会議員に依頼していたが、今後は市議会議員以外からの選出となるため、人選に課題がある。（公益を代表する委員から会長（＝議長）を選出するため）
	指標③								
	指標④							課題解決に向けた方策等	行政にかかわる複数の団体に委員就任の推薦依頼を行った結果、条例に規定する定数に当たる委員候補者の推薦を得ることができた。

※ 目指す方向性が「－」の指標は、「事業把握のための実数」が入力されています。